

12月定例議会

行政報告 (1)

平成26年12月定例議会は、12月4日に開会、19日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また、11日と12日には一般質問が行われました。15日からは、各常任委員会で付託された議案を審議し、19日の最終日に採決が行われました。

12月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

平成26年度職員採用試験は、大学卒一般行政5人、保健師1人、高校卒一般行政4人、消防吏員2人を合格者としてそれぞれ告示しました。

北秋田市誕生10周年記念式典を10月11日に文化会館で行い、これまでの市の発展に貢献した8団体を表彰したほか市民歌を初披露し、市民や関係者約600人が節目を祝いました。秋田大学「地(知)の拠点整備事業」フォーラム2014 in北秋田を秋田大学と市の共催により、11月21日に阿仁ふるさと文化センターで実施しました。

第1回北秋田市防災会議を11月19日に開催し、29人の委員に対し委嘱状を交付したほか、北秋田市地域防災計画の改訂にあたっての基本的な考え方についての承認を得て、年

度内の計画改訂に向けた今後のスケジュール等の確認を行いました。

■総合政策課

「第29回国民文化祭・あきた2014」が、10月4日から11月3日までの1か月間開催され、当市主催事業として10月10日から13日の4日間、はチェンソーアートフェスティバルを、10月25日・26日には現代詩フェスティバルを開催したほか、内陸線アート事業では鷹巣駅前をはじめ、浦田地区、阿仁地区などを会場に大館・北秋田芸術祭2014を開催し、合計で2万人を超す来場者がありました。

公共交通空白地域の解消と、市民生活を支える持続可能な公共交通システムを検証するため、「デマンド型乗り合いタクシー」「市民病院南線」の実証運行を10月から開始しました。旧鷹巣町出身者による「東京鷹巣会」の総会が10月12日に、旧森吉町



▲ふるさと談議で盛り上がった東京鷹巣会の懇親会

出身者による「東京ふるさと森吉会」の総会が11月23日に、それぞれ東京都内で盛大に開催されました。

■内陸線再生支援室

沿線住民の交流と仲間づくりを目的に、第8回秋田内陸線グラウンドゴルフ交流大会が、9月10日に松木内川河川公園で開催され158人が参加しました。また、10月13日には、第12回あきた南北ジュニア強化サッカー交流大会が旧鷹巣高校グラウンドで開催され、16チームから約320人の選手が参加し、熱戦が展開されるなど、沿線住民等のスポーツ交流が定着してきており、今後は文化団体などの交流も進めていきます。内陸線に興味と関心、愛着を持っていただく取り組みとして、「秋田内陸線スタンプリー」を9月25日から3月3日まで実施しています。ま



▲多くの市民が参加し環境美化に努めたクリーンアップ

た、内陸線に関わる写真で制作した「秋田内陸線モザイクアート」全8種類を車両内に展示しています。

財務部関係

■財政課

平成26年8月19日から11月14日までの工事等発注状況(500万円以上)は35件、契約額は25億2256万8千円です。

市民生活部関係

■生活課

市民提案型まちづくり事業は、応募のあった4団体が採択され事業を実施中です。

全市一斉秋のクリーンアップは、10月19日早朝に実施され、地域の皆さんの協力で市内の環境美化が図られました。

「子どもと高齢者の交通事故防止」などを運動の重点に、秋の全国交通安全運動を9月21日から30日まで実施しました。運動初日には、警察署や交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊などの関係者が参加して市役所前と森吉庁舎前で、決起集会を開催したほか、交通安全パレードを行い交通事故防止を呼びかけました。

「みんなでつくる安心の街」をスローガンに、10月11日から20日まで全国地域安全運動を実施しました。10日には、出発式と防犯指導隊員や防犯協会員による一斉パトロールが実施されました。また、11日には、地域住民等関係機関が一体となって防犯意識を高め、防犯活動の士気をあげることをテーマとしたフォーラムが開催されました。

健康福祉部関係

■福祉課

消費税増税に伴う負担軽減のための一時的「臨時福祉給付金」は、10月末現在8721人に対し1億1131万5千円が、一方「子育て世帯臨時特例給付金」は、1679人に対し2762万円が支給されました。

平成27年度から施行される生活困窮者自立支援制度に向け、11月14日、文化会館において「今、地域の力が



▲新制度を学び、講演や事例報告を聞きながら地域福祉のあり方を考えた研修会

「試される」をテーマとして研修会を開催しました。研修会には、市内の福祉関係者、自治会関係者、一般市民、市外からの参加も含め約300人が聴講しました。

北秋田市要保護児童対策地域協議会は、県との共催による「児童虐待防止推進月間及びDV防止推進月間キャンペーン」を、11月12日に鷹巣地区のショッピングセンター2か所で開催しました。

平成27年度の市内保育所の入所受付は、11月1日から開始しました。

■高齢福祉課

地域包括支援センターは、市内介護サービス事業所等の職員の資質向上を図るための研修会として、9月に「認知症ケア」、11月には「権利擁護」をテーマに開催し、延べ140人が参加しました。

在宅で高齢者を介護している方を対象とした「家族介護者交流会」には、59人が参加しました。

げんきワールド事業は、5月からスタートした合川・森吉会場の「介護予防ゆうゆう講座」が、10月28日で終了しました。講座は各6回開催し、延べ184人が介護予防の知識習得や仲間づくりなどを行いました。

■医療健康課

8月から10月までの市立3診療所の外来患者数は、次のとおりです。阿仁診療所では、内科2287人で前年同期比199人の減、外科2991人で前年同期比136人の増、歯科922人で前年同期比226人の増です。合川診療所は、2965人で前年同期比131人の減です。米内沢診療所は、内科3908人で前年同期比194人の減、小児科291人で前年同期比180人の減、整形外科1047人で前年同期比127人の増、脳血管外科263人で前年同期比21人の減、心臓血管外科81人で前年同期比19人の増です。成人健診は、特定健診及びがん検診推進の追加検診を10月26日と11月1日の2日間実施しました。今年度も電話による受診勧奨(コールリコール)のほか、市内イベントに参加してがん検診推進キャンペーンを行いました。

介護予防事業は、各地域運動教室のほか、11月から12月にかけて「介護予防ボランティア養成講座」を開催しています。

市民病院運営連絡協議会は、11月25日に開催され、市民からの要望等への対応や指定管理内容の改善に伴う検討事項の協議のほか、上期の収支状況等の報告が行われました。今後とも厚生連との連携を強化し、諸課題に対応することを確認しました。

北秋田市医療講演会を9月27日に文化会館で開催しました。北秋田市民病院で実際に腹腔鏡下手術を行っていたらいている東京医科歯科大学の小嶋一幸先生から、「体にやさしい胃がんの腹腔鏡下手術」と題してご講演をいただき、市民約2500人が最新の医療技術の手術動画などを交えた講演を熱心に聴講しました。



▲最先端の医療技術について理解を深めた医療講演会